

10型アルファード 取付説明書

※2002.05～2005.03までの製造車輛およびマニュアルレベライザー車輛は装着できませんのでご注意ください。



この車輛では右側スライドドア ステップ部分の内装を取り外して接続作業を行います。ステップ部の床内装を取り外すと配線の束があります。この中から

- ・茶色 : +5V
- ・黒／赤 : マイナス
- ・白 : センサー出力

を選択しますが茶色と黒／赤は同等の太さで各1本しか無いので判別は容易だと思いますが確認のためエンジン始動状態でこの2本をテスターで計測し5Vおよびマイナスを検証しておきます。

※茶色および赤／黒の線が、希に逆の可能性がございます。必ずテスターにて確認作業を行ってください。



【白線 : センサー出力線の確認方法(テスターが必要です)】

束の中に白線は複数あるので、まず太さで上記2本と同等のものを探しエンジン始動状態で黒／赤の配線との間に3V程度かかっている配線を選択します。

このときの電圧はリアの車高によって1.8～3V程度の間で変化するためテスターで計測しながらリアに人に乗ってもらうなど車高を上下させた時電圧が変化する事を確認してください。これがセンサー出力となります。



注)この写真はアルファードではありません

＋、－、センサーの3本が確認できたらこの配線に本機に付属のモジュラー変換ケーブルを繋ぎます。

【＋(茶色)に赤線】

【－(黒／赤)に黒線】をエレクトロタップで繋ぎます。

センサー配線の白線は一度切断し、

【センサー側(後輪側)に本機の緑線】

【車輛のコンピュータ側(前方側)に本機の黄色線】

上記内容で付属のエレクトロタップもしくは半田付けで確実に接続を行います。配線が細いため慎重に取り付けを行ってください。



ヘッドライト警告灯

本機のボリュームを一番左に回した状態でイグニッションを「ON」にして接続確認を行ってください。

ヘッドライト警告灯が消灯しない場合は接続状況に不備が発生しています。問題が無い場合は点灯後数秒で消灯します。

エンジンを始動しヘッドライトを点けて本機の動作確認を行って作業は終了となります。

※本書で使用している画像は参考画像となります。

希に一部車種に適合しないケースもあります。配線色が異なる場合は製造元までお問い合わせ下さい。

接続配線を間違えて通電させると本体の破損に繋がりますので、接続作業の際は間違いの無い様ご注意ください。